

市政ぎふ未来

市議会 Report

No.9

岐阜市の未来に責任ある市政を進めるために行動する超党派のグループです。ぜひ皆様の声をお寄せ下さい。

発行日：2013年7月20日
発行者：市政ぎふ未来
〒500-8701 岐阜市今沢町18
岐阜市議会 第6議員控室
TEL058-265-4141 内3383・3384

6月定例市議会

補正予算など27議案可決・同意、意見書3件も可決

みんなの森 ぎふメディアコスモス着工に
工事請負契約を承認

●補正予算

小中学校の空調工事を25・26年度に前倒し実施
補正予算歳入・歳出総額 1,841,815千円
●職員給与などの減額補正 ▲350,360千円

●主な事業

	(単位：千円)
●生活保護事務システム改修	3,171
●風疹ワクチン無料接種	18,200
●元気な農業産地構造改革支援	11,904
●日の出町アーケード改築補助	55,000
●道路橋梁関係費	268,736
●河川水路関係費	162,951
●まちづくり推進・建築指導	15,500
●公園整備	▲21,600
●小中学校空調整備	1,228,000
●理科授業魅力アップ	63,720
●その他	36,233
計	1,841,815

●条例改正案 9件

●財産取得（電子黒板1935台） 1億6400万円
●下水道会計補正予算 1億5000万円

岐阜市の未来を築く「礎」



●メディアコスモスの工事請負契約

	(単位：千円)
●建築主体工事	4,047,750
●電気設備工事	575,400
●建築機械設備（空調）工事	816,900
●建築機械設備（衛生）工事	302,925
計	5,742,975

施設概要

- 所在地／岐阜市司町40番地5
- 施設の主な機能
 - ・（仮称）中央図書館
 - ・（仮称）市民活動交流センター
 - ・展示ギャラリー等
- 延床面積／15,225㎡
- 構造／鉄筋コンクリート造、鉄骨造、木造
- 規模／地上2階

議会質問

●今議会には、22議員が質問に登壇しました。（市政ぎふ未来の所属議員は今回も全員が登壇しました。）
●市議会ホームページでは、議会質問の様相を録画中継でご覧になれます。



代表質問6月18日
松原和生議員

Q1 本市の監査体制の強化について

【A. 市長】

●監査制度の重要性は十分に認識している。事務局に財務会計に精通した職員を配置するなど体制の強化・充実を図るとともに、市職員全体の内部統制など側面的な支援も進める。

【A. 代表監査委員】

●市長と対等の立場の独立機関。決算審査、定期監査の他、リスク管理を意識し不祥事の未然防止に努める指導監査が重要になった。機能強化を図り効果的な監査の実施に努める。

Q2 住民参加型市場公募地方債の発行について【A. 財政部長】
●地方自治体が、用途（図書館等）を明示した上で市民を中心に購入を募る地方債。市民の行政への参加意識の高揚が図れ、新たな資金調達の手段となりうる。今後研究していく。

Q3 中学校のコミュニティ・スクール化について【A. 教育長】
●地域の教育力を子どもたちに積極的に活用する仕組みがコミュニティ・スクール。本市の中学校区の地域・PTAなどの熱心な活動（岐阜中央中学の挨拶運動の事例を紹介）は、すでにそれと云える。一部の学校で行われている、職業体験や、水防への中学生の参加も教育。地域で育てる思いを再確認しながら、無理なく展開していきたい。

Q4 岐阜競輪の現状と今後について【A. 行政部長】
●一宮競輪が廃止の場合、お客様が近隣に流れると想定され、中期的には入場者、売上の増加が見込まれる。本市は20年間で入場者が5分の1、売上が3分の1に減少しているが、一度も赤字は出さず、市財政への繰り入れを継続中（昨年は2億円）。事業を取り巻く厳しい状況は一宮と同様であり、経営の効率化と魅力アップに努めていく。

Q5 金華地区の歴史を活かしたまちづくりに関して

【A. 都市建設部長】

●「岐阜町発祥の地・まちなか歩き構想」の施設整備は計画延長の8割程度まで進んだ。来訪者の評判も良く、歩行者通行量は増加した。沿道住民への周知・啓発や、ぎふ・いざなびの展開などソフト面から効果を高める施策も展開したい。
●「岐阜公園再整備計画」について、駐車場のGWの渋滞、場所の分かり難さは、誘導員の増員で対応しながら再整備計画の中で検討したい。隣接町内を公園拡大想定区域として計画に入れたことは、強要するもので無く、市の考え方を丁寧に説明してご意見を伺いたい。

※その他、「ぎふCITYウォッチャーズの活用について」を市長公室長に、「納涼台のこれからについて」を商工観光部長に質問しました。



一般質問6月19日
信田朝次議員

Q1 地震対策計画の見直しと「人と防災未来センター」の防災教育への活用について

①国の南海トラフ巨大地震の被害想定の見直しや復旧復興対策の重視等のあるなか、市の地震対策計画の見直し予定は。

【A. 防災監兼都市防災部長】

●大規模広域災害に対応するため、平成23年度に地域防災計画を大幅に改正した。今後は個人備蓄充実、ボランティア活動の啓発や本市に必要な防災方策をとり入れ防災計画の向上に努めていく。

②「人と防災未来センター」のような地震体験学習施設の活用は

【A. 防災監兼都市防災部長】

●防災研修や防災知識習得に効果も高く、地域が行う視察研修にも活用を啓発していく。

【A. 教育長】

●市内中学校3校が修学旅行で現在訪問している。防災をテーマに修学旅行を計画する学校が増えることを期待する。

Q2 インターネット選挙運動の解禁と公営施設における個人演説会開催の可否の決定について

①ネット選挙解禁で候補者、有権者の注意事項は
②公営施設の個人演説会場への使用許可の迅速化は

【A. 選挙管理委員会】

●選挙ホームページの「インターネット選挙運動について」などで詳細に解説。今後も積極的に啓発していく。

●公営施設の開催可否は施設管理責任者が決定することに法で定められている。選管では、諸行事が入っていても、できる限り個人演説会開催ができるよう働きかける。また、事前に空き状況の報告をうけて開催の可否を口頭で伝えられるようにしていく。

Q3 鵜飼観覧船におけるグリーンシートや柵席の新設は

【A. 商工観光部長】

●限られた船数では特別な造作を施した船を用意することは効率的な運航にも影響が。アンケート等でお客のニーズを把握し、料金設定等も含め新観覧船建造計画の中で検討する。



阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター
神戸市中央区臨浜
海岸通1-5-2



一般質問6月20日
石井浩二議員

Q1 （仮称）市民活動交流センター及び（仮称）中央図書館建築工事における市内業者の活用について

【A. 都市建設部長】

●可能な限り市内業者の活用がなされるよう留意して進めてきており、業者選定においても総合評価落札方式を採用し市内業者の活用率を評価項目の一つとした。今後も太陽光パネル設置工事、備品購入調達など出来る限り市内業者が活用されるようにしていく。

Q2 工事請負代金の支払いについて

【A. 会計管理者】

●関係部局と連携を図り、効率的な書類審査などの方策を検討し、業者の資金繰りに支障をきたさないよう、工事請負代金を速やかに支払うよう努めていく。

【A. 工事検査室長】

●「工事書類の簡素化」「工事検査の合理化」「ワンデイスポンスの取り組み」を実施している。今後も受注者の負担の軽減とあわせ、工事検査書類についても速やかに処理ができるように努めていく。

Q3 市民サービスを考慮した人事のあり方について

【A. 行政部長】

●「適材適所」を原則とし、組織の活性化を図っていく事が重要であり適切な人事異動を行うことにより、満足度の高い行政サービスを提供し市民の皆様に幸せになって頂くよう努めていく。

Q4 パブリックコメント手続き制度について

【A. 市民参画部長】

●より多くのご意見を頂くために、資料を公営施設に備えたり内容に応じて関係団体などへの説明や意見交換の機会を設けている。また、他都市の事例調査などを通し研究していく。

Q5 防災ラジオの活用について

【A. 防災監兼都市防災部長】

●有効に活用されるよう、改めて全配布者に通知し周知に努めていくと同時に、配布先の拡大についても検討していく。また、一斉の試験放送を実施する必要があると考え必要な準備を進めている。

Q6 電子黒板の活用について

【A. 教育長】

●教師の力量の差の均一化が図られるツールであり授業内容やレベルの差は生じないが、その先生ならではの個人的な授業が少なくなるのではないかと心配がある。しかし、長年取り組んできた自主教材の開発等の工夫を続けながら効果的な電子黒板の活用を研究していく。